

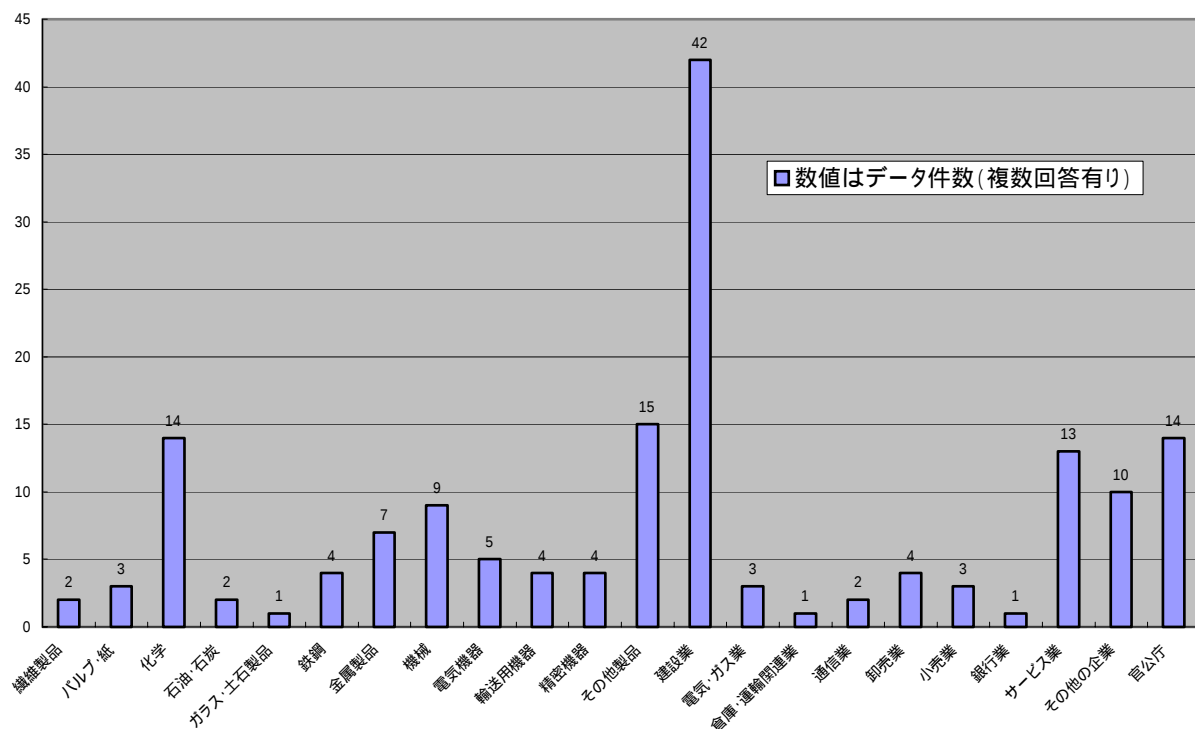
企業アンケート（平成14年11月実施）集計結果

対象:全体626件 回答:165件(回答率26.4%)

送付先内訳	分類	送付件数	回答件数	回答率(%)
	地方自治体・官公庁	46	13	28.3
	ME 卒業生就職先企業	55	20	36.4
	IE 卒業生就職先企業	55	14	25.5
	CA 卒業生就職先企業	55	16	29.1
	その他の企業	415	102	24.6

アンケート：業種 下記業種一覧から、番号で選び下さい。

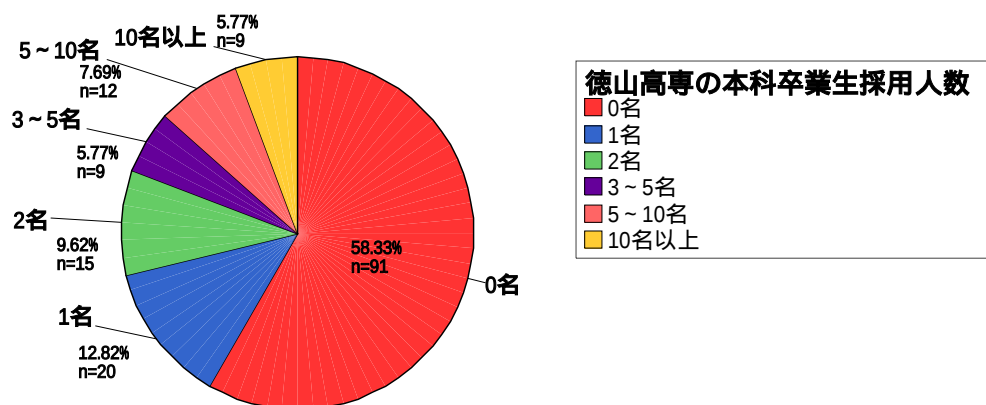
製造業	(1)食料品 (2)繊維製品 (3)パルプ・紙 (4)化学 (5)医薬品 (6)石油・石炭 (7)ゴム製品 (8)ガラス・土石製品 (9)鉄鋼 (10)非鉄金属 (11)金属製品 (12)機械 (13)電気機器 (14)輸送用機器 (15)精密機器 (16)その他製品
その他	(17)水産・農林業 (18)鉱業 (19)建設業 (20)電気・ガス業 (21)陸運業 (22)海運業 (23)空運業 (24)倉庫・運輸関連業 (25)通信業 (26)卸売業 (27)小売業 (28)銀行業 (29)証券・商品先物取引業 (30)保険業 (31)その他金融業 (32)サービス業 (33)その他
官公庁等	(34)官公庁 (35)公団 (36)公社 (37)協会 (38)農協等 (39)病院・医療 (40)警察・消防 (41)その他団体



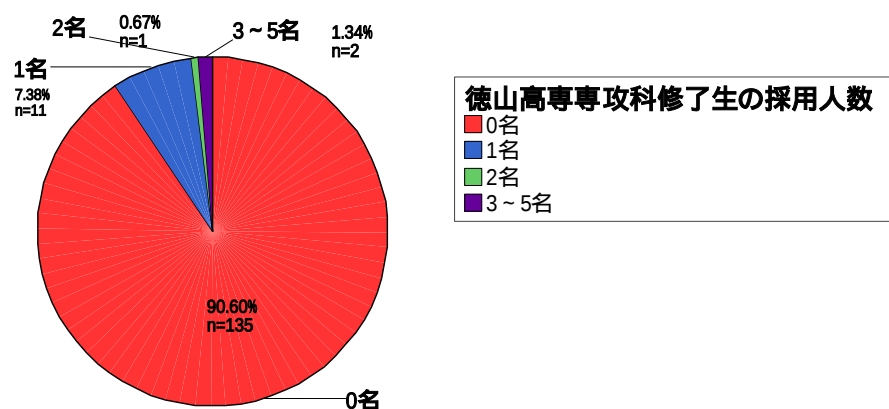
1. 徳山高専あるいはその他の高専からの採用実績(人数)を、選択肢からお選び下さい。

0名 1名 2名 3～5名 5～10名 10名以上

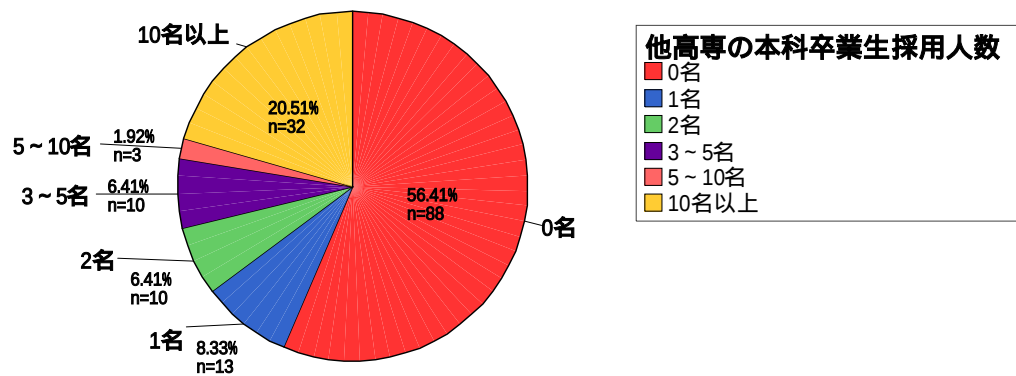
質問 1-1 徳山高専の本科卒業生



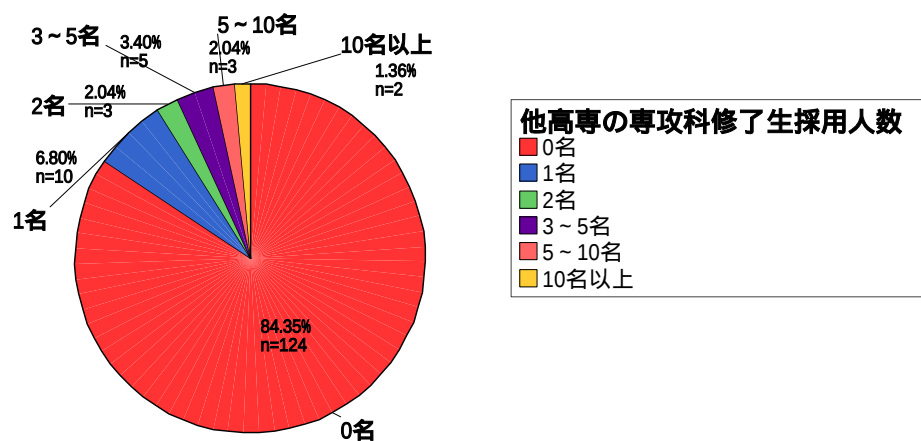
質問 1-2 徳山高専の専攻科修了生



質問 1-3 他高専の本科卒業生



質問 1-4 他高専の専攻科修了生

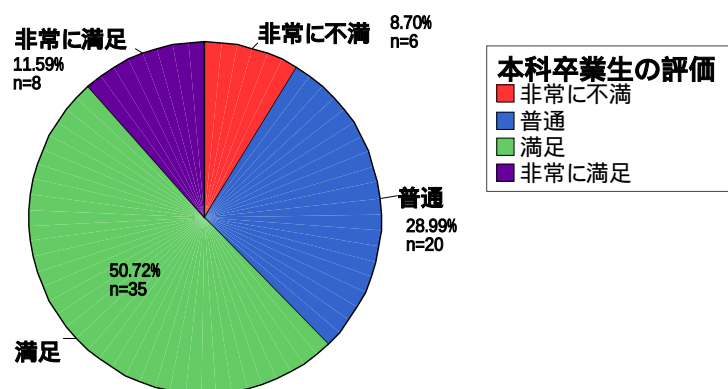


2. 徳山高専の本科卒業生あるいは専攻科修了生に対し、平均的な仕事に対する評価（勤務成績）について、選択肢からお選び下さい。

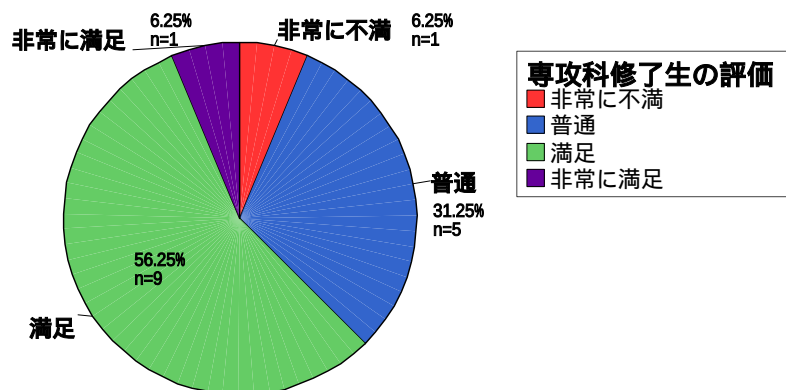
非常に不満 不満 普通 満足 非常に満足

（徳山高専から学生を採用している企業の回答です。）

質問 2-1 徳山高専の本科卒業生



質問 2-2 徳山高専の専攻科修了生



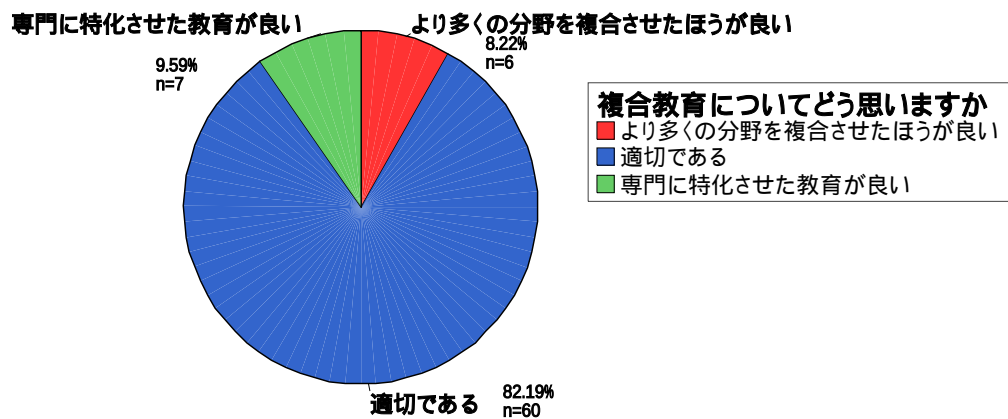
また、コメントがあれば下欄にお書き下さい。

- ・個性がありおもしろい人材である。
- ・中堅技術者として活躍中
- ・4 といっても、5 に近いレベルにあります
- ・採用人数 2 名中、非常に満足は 1 名で、後 1 名は途中退社。
- ・やや不満
- ・これまで入局しております貴校卒業生の職場での活躍ぶりに喜んでおります。

3. 徳山高専には3つの学科があり、それぞれが二分野にまたがる複合教育(機械と電気、情報と電子、土木と建築)をしております。このような徳山高専の複合教育についてどのようにお考えですか? 選択肢からお選び下さい。

より多くの分野を複合させた教育がよい 適切である
専門に特化させた教育が良い

(徳山高専から学生を採用している企業の回答です。)



また、コメントがあれば下欄にお書き下さい。

- ・認識不足で、土木建築科、情報科、電子科、機械科、電気科があとと思っていた。
- ・3の中で周辺教育として、関連教科を勉強させた方がよい
- ・"特に本科卒業生はエキスパートとして育成、活用したい。"

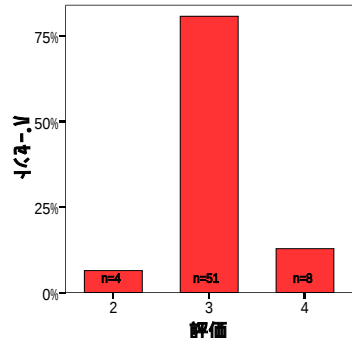
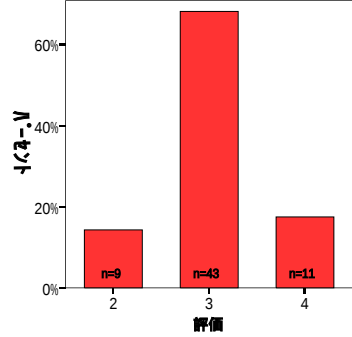
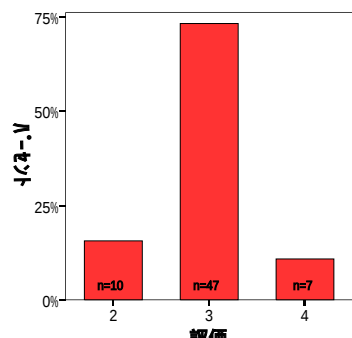
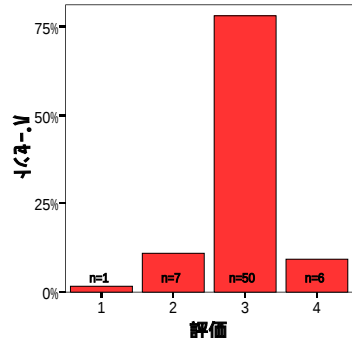
4．徳山高専では、

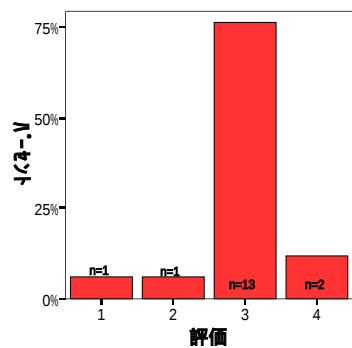
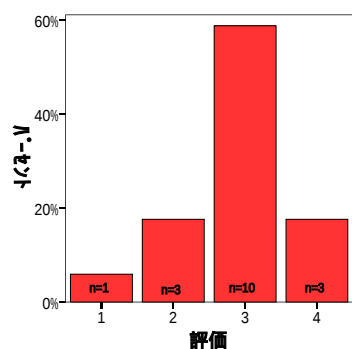
“世界に通用する実践力のある開発型技術者をめざす人材の育成”
を教育目標としております。そこで、その教育目標に関する質問です。

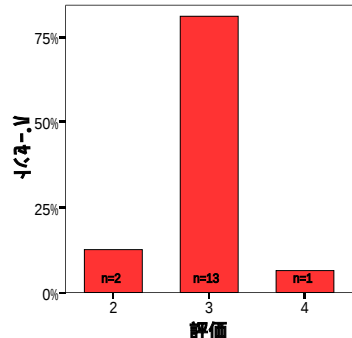
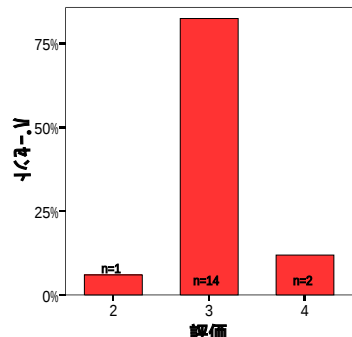
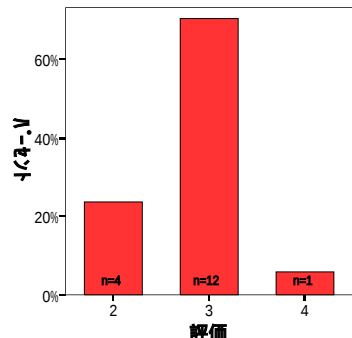
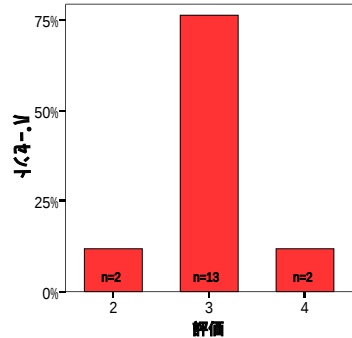
(徳山高専から学生を採用している企業の回答です。)

質問 4-1 徳山高専の本科卒業生あるいは専攻科修了生に、本校の教育目標に見合うだけの実力がついているかどうかお聞きします。平均的に見た本校の教育目標に対する達成度を、以下の各項目について 4 段階(不満 1-2-3-4 満足)で評価して下さい。

本 科	評価															
（「世界に通用する」技術者をめざすために）																
項目 1 ．複合分野の基礎となる基本的素養を身につける	<table><thead><tr><th>評価</th><th>割合 (%)</th><th>n</th></tr></thead><tbody><tr><td>2</td><td>~10%</td><td>5</td></tr><tr><td>3</td><td>~75%</td><td>46</td></tr><tr><td>4</td><td>~20%</td><td>12</td></tr></tbody></table>	評価	割合 (%)	n	2	~10%	5	3	~75%	46	4	~20%	12			
評価	割合 (%)	n														
2	~10%	5														
3	~75%	46														
4	~20%	12														
項目 2 ．国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養う	<table><thead><tr><th>評価</th><th>割合 (%)</th><th>n</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>~5%</td><td>2</td></tr><tr><td>2</td><td>~35%</td><td>22</td></tr><tr><td>3</td><td>~58%</td><td>37</td></tr><tr><td>4</td><td>~5%</td><td>2</td></tr></tbody></table>	評価	割合 (%)	n	1	~5%	2	2	~35%	22	3	~58%	37	4	~5%	2
評価	割合 (%)	n														
1	~5%	2														
2	~35%	22														
3	~58%	37														
4	~5%	2														

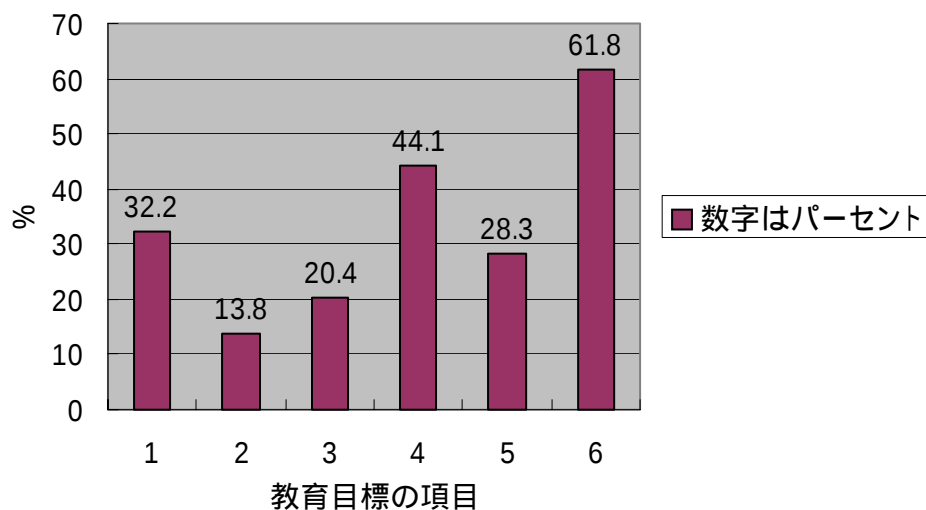
(「実践力のある」技術者をめざすために)																
項目 3 . 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につける	 <table><tr><th>評価</th><th>割合</th><th>n</th></tr><tr><td>2</td><td>~5%</td><td>4</td></tr><tr><td>3</td><td>~80%</td><td>51</td></tr><tr><td>4</td><td>~15%</td><td>8</td></tr></table>	評価	割合	n	2	~5%	4	3	~80%	51	4	~15%	8			
評価	割合	n														
2	~5%	4														
3	~80%	51														
4	~15%	8														
項目 4 . 自主性と自立性を養う	 <table><tr><th>評価</th><th>割合</th><th>n</th></tr><tr><td>2</td><td>~15%</td><td>9</td></tr><tr><td>3</td><td>~65%</td><td>43</td></tr><tr><td>4</td><td>~18%</td><td>11</td></tr></table>	評価	割合	n	2	~15%	9	3	~65%	43	4	~18%	11			
評価	割合	n														
2	~15%	9														
3	~65%	43														
4	~18%	11														
(「開発型」技術者をめざすために)																
項目 5 . 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につける	 <table><tr><th>評価</th><th>割合</th><th>n</th></tr><tr><td>2</td><td>~15%</td><td>10</td></tr><tr><td>3</td><td>~75%</td><td>47</td></tr><tr><td>4</td><td>~10%</td><td>7</td></tr></table>	評価	割合	n	2	~15%	10	3	~75%	47	4	~10%	7			
評価	割合	n														
2	~15%	10														
3	~75%	47														
4	~10%	7														
項目 6 . 課題を把握し解決する能力を身につけ、感性、創造性を養う	 <table><tr><th>評価</th><th>割合</th><th>n</th></tr><tr><td>1</td><td>~2%</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>~10%</td><td>7</td></tr><tr><td>3</td><td>~80%</td><td>50</td></tr><tr><td>4</td><td>~10%</td><td>6</td></tr></table>	評価	割合	n	1	~2%	1	2	~10%	7	3	~80%	50	4	~10%	6
評価	割合	n														
1	~2%	1														
2	~10%	7														
3	~80%	50														
4	~10%	6														

専攻科	評価															
(「世界に通用する」技術者をめざすために)																
項目１．複合分野の基礎となる基本的素養を身につける	 <table><thead><tr><th>評価</th><th>割合・V</th><th>n</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>~5%</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>~5%</td><td>1</td></tr><tr><td>3</td><td>75%</td><td>13</td></tr><tr><td>4</td><td>~10%</td><td>2</td></tr></tbody></table>	評価	割合・V	n	1	~5%	1	2	~5%	1	3	75%	13	4	~10%	2
評価	割合・V	n														
1	~5%	1														
2	~5%	1														
3	75%	13														
4	~10%	2														
項目２．国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養う	 <table><thead><tr><th>評価</th><th>割合・V</th><th>n</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>~5%</td><td>1</td></tr><tr><td>2</td><td>~18%</td><td>3</td></tr><tr><td>3</td><td>60%</td><td>10</td></tr><tr><td>4</td><td>~18%</td><td>3</td></tr></tbody></table>	評価	割合・V	n	1	~5%	1	2	~18%	3	3	60%	10	4	~18%	3
評価	割合・V	n														
1	~5%	1														
2	~18%	3														
3	60%	10														
4	~18%	3														

（「実践力のある」技術者をめざすために）													
項目 3 . 情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につける	 <table><tr><th>評価</th><th>割合</th><th>n</th></tr><tr><td>2</td><td>12.5%</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>76.9%</td><td>13</td></tr><tr><td>4</td><td>7.7%</td><td>1</td></tr></table>	評価	割合	n	2	12.5%	2	3	76.9%	13	4	7.7%	1
評価	割合	n											
2	12.5%	2											
3	76.9%	13											
4	7.7%	1											
項目 4 . 自主性と自立性を養う	 <table><tr><th>評価</th><th>割合</th><th>n</th></tr><tr><td>2</td><td>6.3%</td><td>1</td></tr><tr><td>3</td><td>81.8%</td><td>14</td></tr><tr><td>4</td><td>11.8%</td><td>2</td></tr></table>	評価	割合	n	2	6.3%	1	3	81.8%	14	4	11.8%	2
評価	割合	n											
2	6.3%	1											
3	81.8%	14											
4	11.8%	2											
（「開発型」技術者をめざすために）													
項目 5 . 複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につける	 <table><tr><th>評価</th><th>割合</th><th>n</th></tr><tr><td>2</td><td>25.0%</td><td>4</td></tr><tr><td>3</td><td>66.7%</td><td>12</td></tr><tr><td>4</td><td>8.3%</td><td>1</td></tr></table>	評価	割合	n	2	25.0%	4	3	66.7%	12	4	8.3%	1
評価	割合	n											
2	25.0%	4											
3	66.7%	12											
4	8.3%	1											
項目 6 . 課題を把握し解決する能力を身につけ、感性、創造性を養う	 <table><tr><th>評価</th><th>割合</th><th>n</th></tr><tr><td>2</td><td>12.5%</td><td>2</td></tr><tr><td>3</td><td>76.9%</td><td>13</td></tr><tr><td>4</td><td>10.6%</td><td>2</td></tr></table>	評価	割合	n	2	12.5%	2	3	76.9%	13	4	10.6%	2
評価	割合	n											
2	12.5%	2											
3	76.9%	13											
4	10.6%	2											

質問4-2 上記の本校の教育目標6項目の中で特に重要と思われる項目を挙げて下さい。
(複数選択可)

(アンケートに回答したすべての企業からの集計です。)



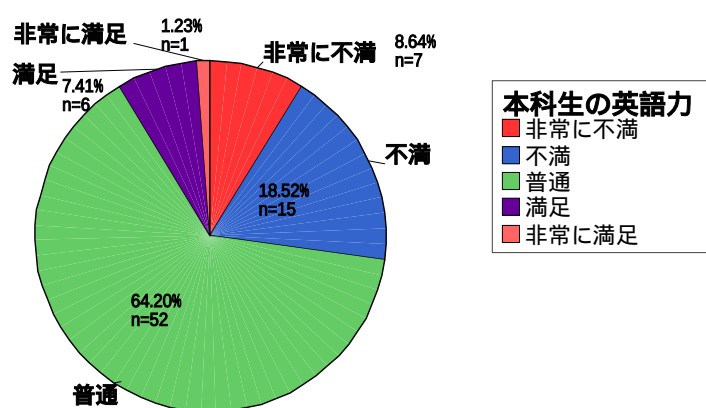
- 項目1．複合分野の基礎となる基本的素養を身につける
- 項目2．国際理解を深め、技術者としての倫理観とコミュニケーション能力を養う
- 項目3．情報技術をベースに、実体験を通して表現力を身につける
- 項目4．自主性と自立性を養う
- 項目5．複合分野にわたる知識を有機的に結びつける設計能力を身につける
- 項目6．課題を把握し解決する能力を身につけ、感性、創造性を養う

5. 高専卒業生および専攻科修了生の一般的な英語の能力についてお聞きします。入社時点での英語の能力を評価して下さい。

(高専卒業生を採用している企業の回答です。)

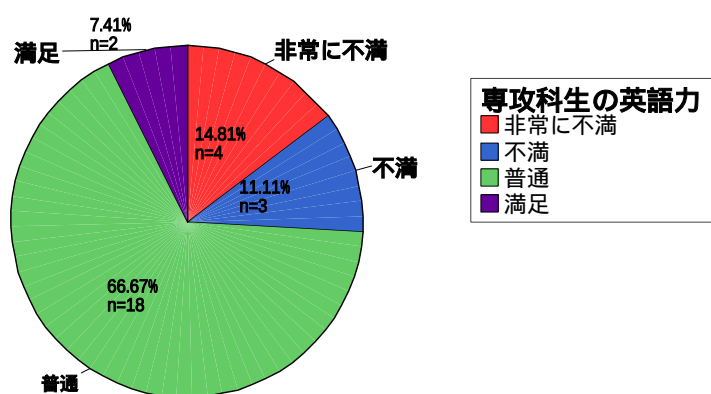
質問 5-1 本科卒業生の英語力

非常に不満 不満 普通 満足 非常に満足



質問 5-2 専攻科修了生の英語力

非常に不満 不満 普通 満足 非常に満足

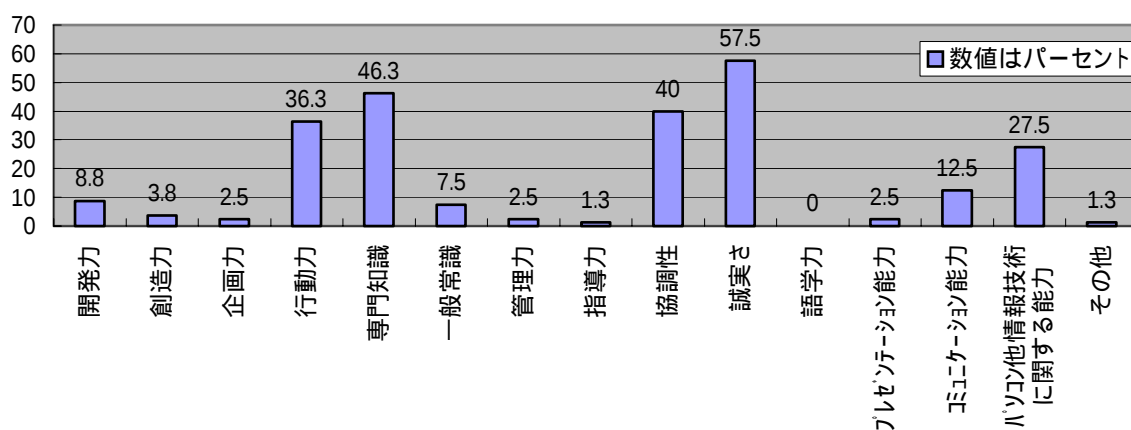


6. 高専の本科卒業生あるいは専攻科修了生を、大学の卒業生と比較した場合、優れていると感じる点をお選びください。（複数選択可）

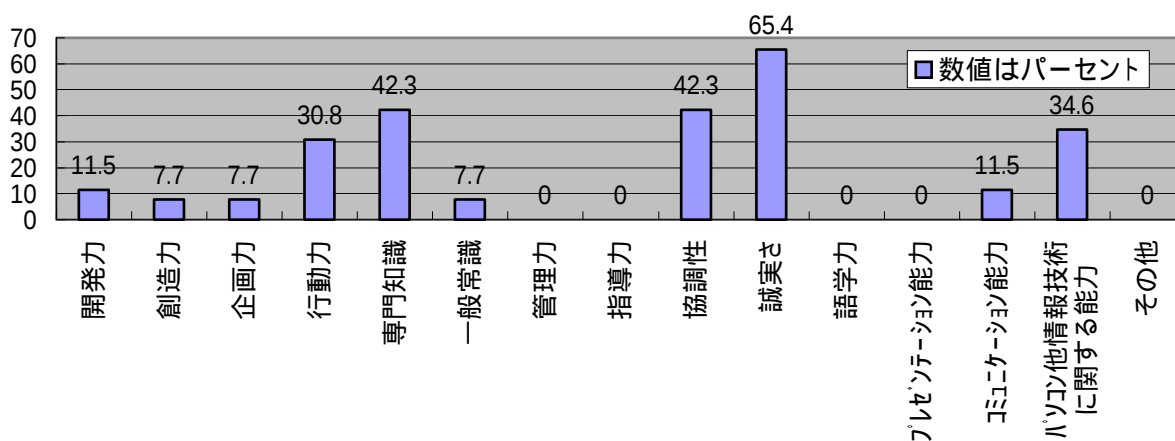
開発力 創造力 企画力 行動力 専門知識 一般常識 管理力
 指導力 協調性 誠実さ 語学力 プレゼンテーション能力
 コミュニケーション能力 パソコン他情報技術に関する能力 その他

（高専卒業生を採用している企業の回答です。）

質問 6-1 本科卒業生



質問 6-2 専攻科修了生



7. 貴社で勤務をする場合に推奨しておられる資格についてお聞きます。資格一覧から、番号でお答え下さい。(複数選択可)その他を選ばれた場合は、具体的な資格名をお書き下さい。

その他[]

(アンケートに回答したすべての企業からの集計です。)

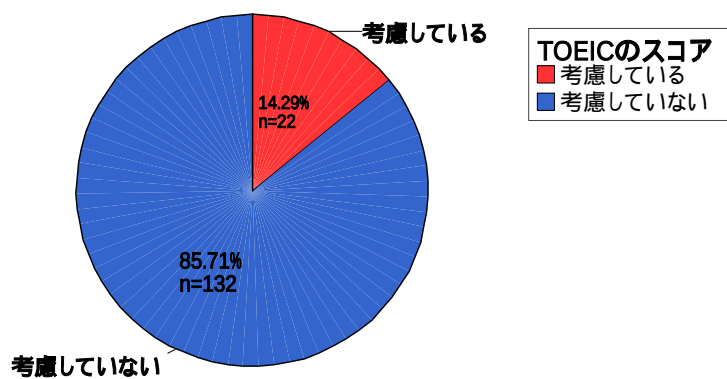
企業推奨資格

資格	件数	資格	件数
(1)実用英語技能検定1級	4	(67)液化石油ガス設備士	1
(2)実用英語技能検定準1級	4	(68)エックス線作業主任	4
(3)実用英語技能検定2級	8	(69)ガンマ線透過写真撮影作業主任者	1
(4)実用英語技能検定準2級	5	(72)放射線取扱主任者	4
(6)工業英語検定2級	1	(73)火薬類保安責任者	3
(7)工業英語検定3級	1	(74)エネルギー管理士	6
(14)基本情報処理技術者試験	16	(75)作業環境測定士	5
(15)インターネット実務検定	2	(77)酸素欠乏危険作業主任者	5
(16)コンピュータサービス技能評価試験	1	(78)特定化学物質等作業主任者	4
(17)デジタル技術検定	2	(83)浄化槽管理士	1
(18)パソコン検定(P検)	6	(85)浄化槽設備士	1
(19)システムアドミニストレータ試験	5	(86)廃棄物処理施設技術管理者	6
(20)情報処理活用能力検定(J検)	3	(88)冷凍保安(機械)責任者	2
(21)情報処理技術者試験	23	(89)消防設備士	2
(24)CG検定	1	(92)社会保険労務士	2
(25)アプリケーションエンジニア	4	(95)労働安全コンサルタント	1
(26)システムアナリスト	5	(96)その他	2
(27)システム運用管理エンジニア	4	(97)採石業務管理者	2
(28)システム監査技術者	3	(101)管工事施工管理技士	10
(29)データベーススペシャリスト	6	(102)造園施工管理技士	2
(30)ネットワークスペシャリスト	5	(103)土木施工管理技士	24
(31)プロジェクトマネージャー	4	(104)下水道管理技術認定	3
(32)プロダクションエンジニア	4	(105)下水道技術検定	3
(33)マイコン応用システムエンジニア	6	(106)建築士	20
(35)電気通信工事担任者	9	(107)建築整備士	1
(36)電気通信主任技術者	9	(108)建築設備士	1
(37)電気工事士	11	(110)建築施工管理技士	10
(38)電気主任技術者	31	(113)足場の組立等作業主任者	7
(39)電気工事施工管理技士	11	(114)型わく支保工の組立等作業主任者	4
(41)総合無線通信士	1	(115)建築物等の鉄骨の組立等作業主任者	2
(43)陸上無線技術士	6	(116)コンクリート主任技師	2
(44)特殊無線技士	2	(117)コンクリート技師	3
(44)特殊無線技士	2	(118)コンクリート造の工作物の解体等作業主任者	1
(47)技術士	24	(120)土止め支保工作業主任者	3
(48)技術士補	10	(122)基礎施工士	1
(49)ボイラー技士	9	(124)建設業経理事務士	8
(50)ボイラー据付工事作業主任者	1	(126)測量士	5
(51)ボイラー整備士	4	(127)福祉住環境コーディネーター検定	1
(52)ボイラー溶接士	3	(128)インテリアコーディネーター	1
(54)ガス主任技術者	1	(130)宅地建物取引主任者試験	3
(55)ガス溶接技能者	5	(131)土地家屋調査士	1
(56)ガス溶接作業主任者	6	(133)不動産鑑定士	1
(58)高圧ガス製造保安責任者	12	(135)自動車整備士	1
(59)高圧ガス販売主任者	1	(136)クレーン運転士	2
(61)第一種圧力容器取扱作業主任者	3	(137)移動式クレーン運転士	4
(62)公害防止管理者	16	(138)デリック運転士	1
(63)衛生管理者	17	(139)フォークリフト運転士	9
(64)衛生工学衛生管理者	1	(140)車両系建設機械運転技能者	2
(65)危険物取扱者	18	(155)その他	1
(66)毒物劇物取扱責任者	3		

8. 入社に当たり、TOEIC のスコアを考慮しておられますか？

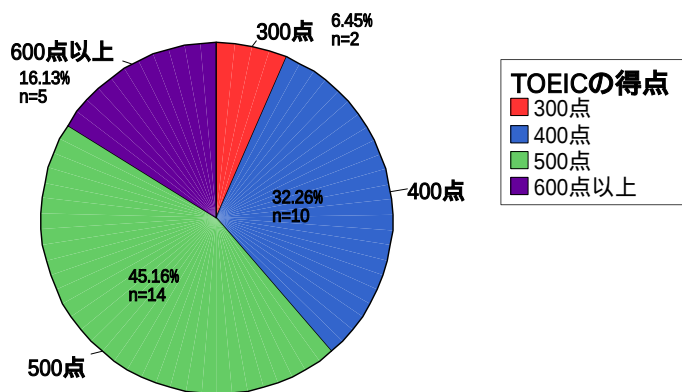
質問 8-1 TOEIC のスコア 考慮している 考慮していない

(アンケートに回答したすべての企業からの集計です。)



質問 8-2 考慮されていれば、何点位必要だとお考えですか？

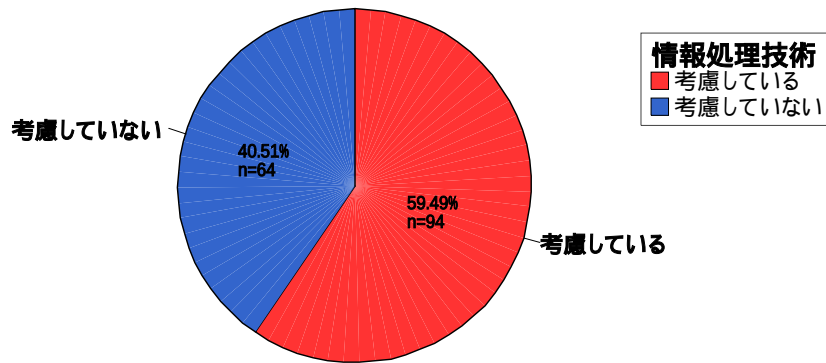
300 点 400 点 500 点 600 点以上



9. 入社に当たり、情報処理技術の能力を考慮しておられますか？

質問 9-1 情報処理技術 考慮している 考慮していない

(アンケートに回答したすべての企業からの集計です。)

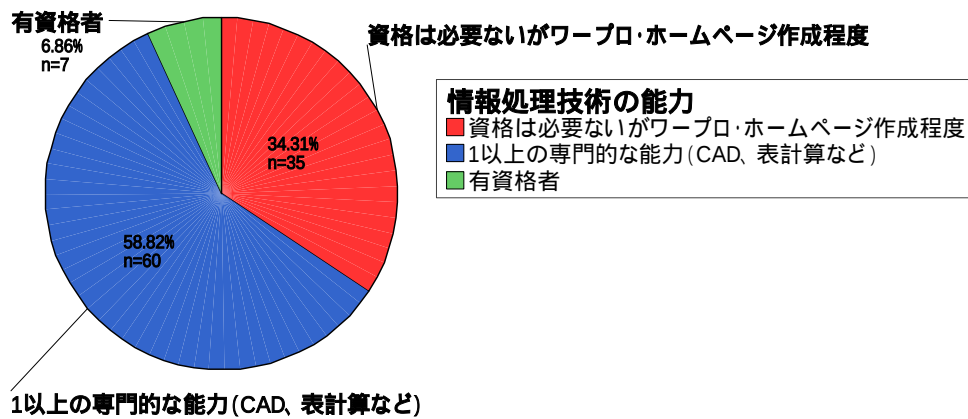


質問 9-2 考慮されていれば、どの程度の能力が必要だとお考えですか？

資格は必要ないがワープロ・ホームページ作成程度

以上の専門的な能力 (CAD、表計算など)

有資格者



尚、選ばれた場合は、具体的な資格名をお書き下さい。

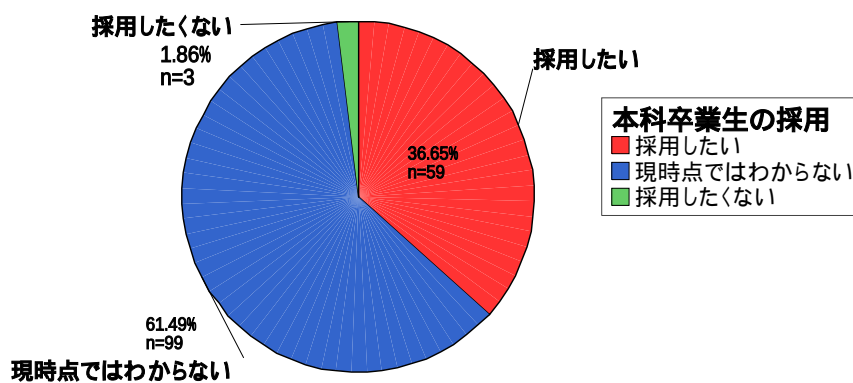
- ・OEIC (入社の選考には左右されないが TOEIC は受験していることが望ましい)
- ・技術士
- ・電気工事士, 電気工事施工管理技師, ボイラー技師, 冷凍空調技師
- ・機械設計技術者試験
- ・ベンダー認定資格 (CCNA,SCSA,etc.)
- ・玉掛、床上クレーン

10．今後、高専本科または専攻科からの採用をお考えですか？

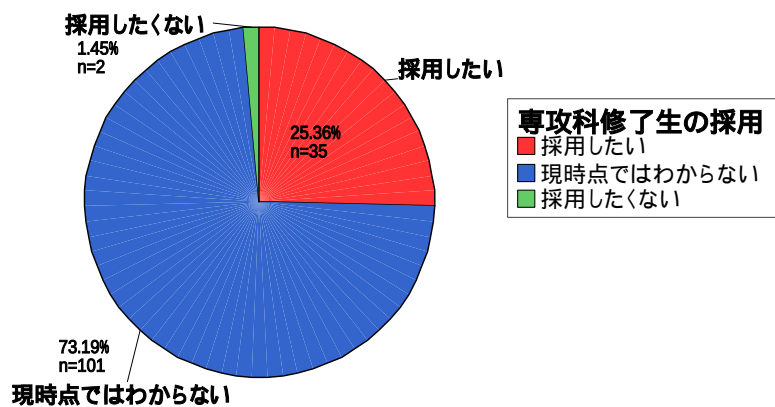
採用したい 現時点ではわからない 採用したくない

(アンケートに回答したすべての企業からの集計です。)

質問 10-1 本科卒業生の採用



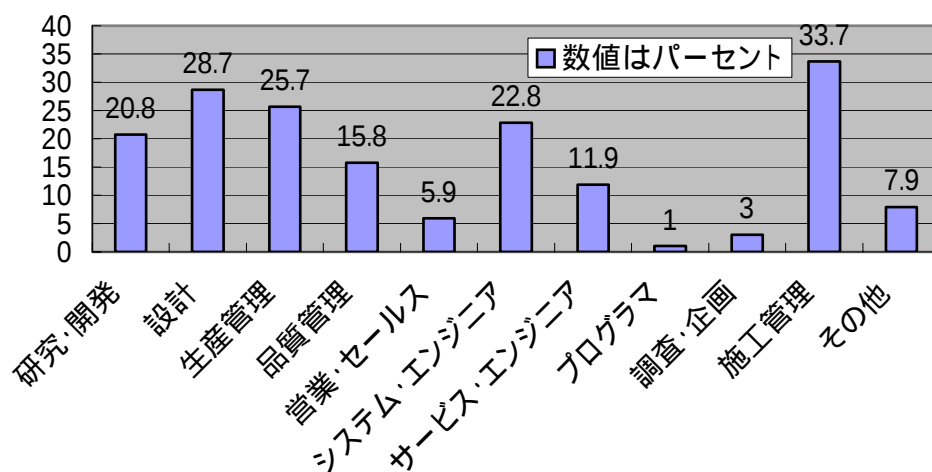
質問 10-2 専攻科修了生の採用



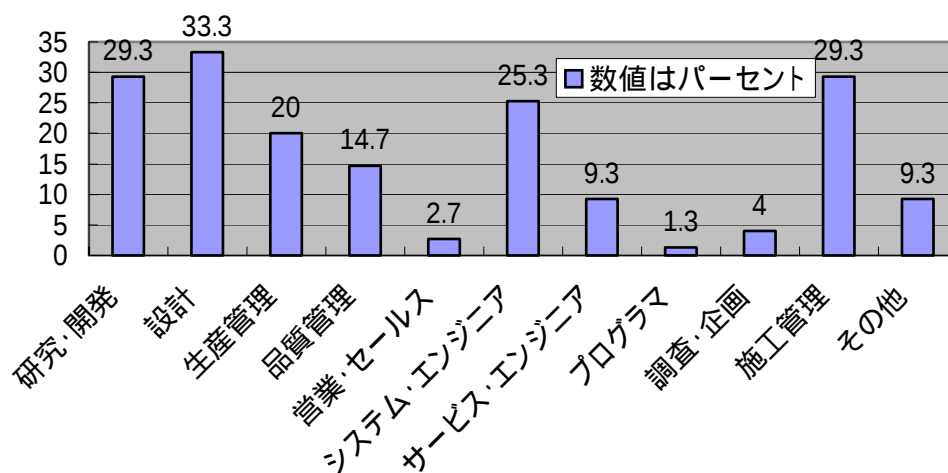
また、採用したい場合、その職種はどのようなものをお考えですか？（複数選択可）

研究・開発 設計 生産管理 品質管理
 営業・セールス システム・エンジニア サービス・エンジニア
 プログラム 調査・企画 施工管理 その他

質問 10-3 本科卒業生を採用したい場合、その職種は？



質問 10-4 専攻科修了生を採用したい場合、その職種は？

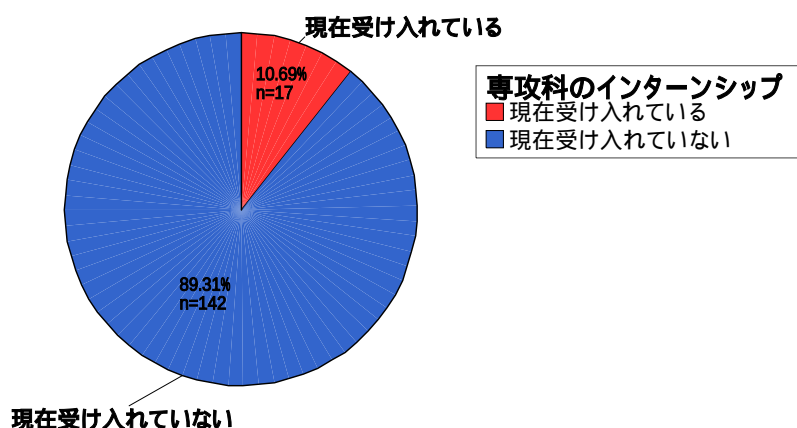


- 1 1 . 徳山高専専攻科では、これまで夏季休業中に 30 日程度のインターンシップ（企業内学生研修）を体験させて参りました。さらに来年度からは 90 日程度に伸ばす予定です。インターンシップについてお伺いします。

（アンケートに回答したすべての企業からの集計です。）

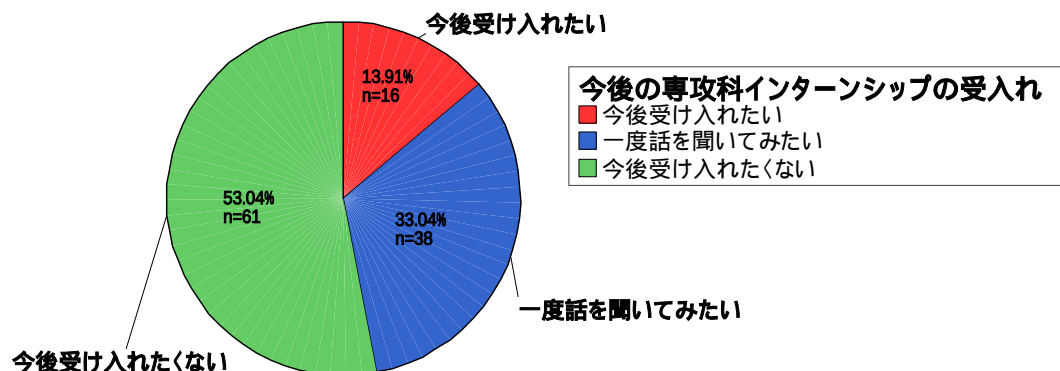
質問 11-1 高専専攻科から、インターンシップを受け入れておられますか？

現在受け入れている 現在受け入れていない



質問 11-2 専攻科生の今後のインターンシップの受け入れについてお尋ねします。

今後受け入れたい 一度話を聞いてみたい
今後受け入れたくない



12. 高専に望まれることがあれば、以下にご記入下さい。

a. 学生へのアドバイス：

- ・自ら考えて、行動できる人材を求めます。「思考力」を養うことを望みます。
- ・今後とも、レベルを落さず基礎力をしっかり身に付けてほしい。
- ・せめて、一般常識を身につけるのは、家庭教育で。
- ・一般的なマナーは身に付けてほしい。
- ・自信を持って学業に専念して下さい。
- ・人間として自立するための勉学・修練を行って欲しい。
- ・自分の目標、目的を持つ事。
- ・専門知識のみならず仕事の中で必要となるコミュニケーション能力の向上もお願いしたいところです。
- ・学校の勉強以外の一般常識をもっと身に付けてほしい。
- ・在学中に、自分の将来、一生をかける仕事は何かの判断は考えておいて頂きたい。(中途退社者は別業務に転職したので)
- ・前向きなこと！
- ・高専出身の誇りを持って高い技術力を身につけてください。
- ・放送技術者として幅広い活躍を期待しておりますので貴校において幅広く基礎学力を身につけていただくことを希望いたします。
- ・企業では専門知識は言うに及ばず、英語を始めとする一般教養も必要であることを認識して欲しい。
- ・専門科目(実験も)をしっかり身に付けてください。

b. 教官に望むこと：

- ・技術競争の世の中、貴重な人的資源(人材)をより多く育ててください。
- ・挑戦の連続ですから物事に挑戦するのがストレスでなく喜び(達成感)が味わえると良いと思います。
- ・貴校で修得された学問が即実社会において生かされないことを予め知っておくこと。
- ・卒業した学生が相談に来れるような環境づくり
- ・高い知識、技術の取得はもちろん大切ですが、生産や研究の第一線でリーダーとして活躍するためには成績表やテストには表れない指導力、創造性、コミュニケーション能力等が必要です。机上だけでなく現場で生かすことができる教育を期待しています。
- ・自主性、感性を身につけて欲しい。
- ・自分に自信が持てるように、何らかの一貫した取り組み(学問、クラブ活動 etc)を学生時にしていただきたい。
- ・何事も基本が大事。物事の道理・原理からしっかりと把むこと。
- ・現行カリキュラムを基にした基礎学力と、グループで何かを仕上げる経験を望みます。
- ・日進月歩の情報化社会での基本的なスキルと問題を解決できる精神力と困難に耐える体力を養成すること。
- ・基礎教育をしっかり行ってください。研究等を通じてコミュニケーション力、説明能力を学生に修得させてください。
- ・優秀な生徒を多く輩出できるよう、教育にさらに力を入れて、中国地方の知性を高めてほしい。
- ・専門知識も必要と考えますが、それ以上に問題意識の持ち方を教えて欲しい。
- ・建設・土木分野ですので、世界に通用する、は特に必要ないと思います。

・企業の生き残りは、これからも大変と思います。当然のことながらその中に入り込む生徒さんはより厳しいと思います。これに耐える人物づくりが必要だと思います。精神的にも肉体的にも。

・巷間では、生徒の質は良いが、問題は教官という噂も耳にする。更なる努力を期待する。

・会話、説明、問題点の整理、発表、発言等に自信を持たせる指導。高専技術者はコツコツとまじめにこなしている。提案、説明討論、会議といった指導も。

・社会で生きる学問を身につけると同時に社会性を指導して頂きたい。

・技術・知識も確かに大切ですが、自分で考えるという発想力、礼儀、協調性、etc.といったことの方が会社で働くという意味では重要になってくることが多いので人間育成といった観点で教育してほしい。

・「枠」に入っていない発想をもった人に育てて欲しい。

・一般的なマナーのご指導をお願いします。

・自由闊達な校風を望みます。

・単なる知識を詰めこむ授業ではなく、人間を育てる様に。

・目標、目的を持たせる教育指導（自立主義）

・いろいろな自分体験談を生徒に語り、人生とか仕事というものへの姿勢も身につけて下さい。

・対人関係のきびしさを教えてほしい。

・社会に出て即戦力になれる人材教育を望みます。

・もっと、一般教養を授け、広い視野を持たせてください。

・これまで入局しております貴校卒業生の職場での活躍ぶりに喜んでおります。今後も優秀な学生さんが一人でも多く NHK に入局していただけることをお願いできればと考えております。

・基礎学力、基本技術の習得に力点を置いて頂きたい。また、資質によるものであり困難と思うが、「よく遊び」「よく学ぶ」学生を育成して欲しい。

・学生に研究テーマのバックグラウンドを十分に理解させてください。

c. その他：

・今年度は、情報電子工学科の藤山健二様をご紹介頂き、誠にありがとうございました。採用活動も無事終了し、来期の就職活動がスタートしました。来年度もよろしくお願いいたします。

・実習を多くしてもらいたい。

・実社会の中ではコミュニケーションも大切です。

・大手の採用募集等多い為か、なかなか中小企業の募集にはマッチングしないように感じる。

・教官及び施設等が優れているので、中小企業の技術コンサルティング的な活動が可能であれば当社としても参加したい。

・更に実社会にマッチした学生を育ててほしい。

・現在、本業の他、地域密着型の教育、例えば人材育成教育やテクノアカデミアなどの高度な教育を行ってもらっているのが、今後も続けていただきたい。

・今後、採用実績を作りたい。

・中小企業の活力源になる人材の育成。

・学問、研究のみならず、早期に自己を確立できるような社会教育・指導もお願いしたい。

・資格取得の指導を積極的にお願いしたい。

- ・基礎・基本教育はもちろんのことそれに立脚した応用・発展の機会を多く提供してあげて下さい。
- ・失敗を恐れずにチャレンジする精神とそこから次のステップになる発見があることを理解させること。
- ・専門外にも興味を持つ。一般的、社会的常識にも。
- ・地域の製造業との連携をより密にし、周南地域の研究開発の核になって欲しい。
- ・わからないこと、自分から勉強して、理解していくことを教えてほしい。人にたよりすぎる。

13．最後に、教育機関としての高専の存在意義、将来のあるべき姿等についてご意見があればお聞かせ下さい。

- ・技術力も日々進んでいます。学校での教育は社会に出て役立たないことが多いです。(基礎学力だけです。)もっと考えた教育が必要です。各企業とも新卒者は再教育しておられます。
- ・弊社のようにエンジニアを必要としている会社においては、大学生以上に期待しています。技術に特化しながらも応用のきく幅広い知識を身につけた学生を社会に送りだしていただきたい。
- ・高等教育の場として維持しつつも人づくりに力を入れられてはいかがでしょうか。
- ・高専の役割は既に終了したようにも見える。今後は高校・大学(4年制)への総合教育で特徴を出していくべきかと思う。
- ・一般教養科目の強化
- ・現在各教官御多忙の中、いろいろな事を計画実行されている。教育機関としてかなり知名度も上がっており、今後も地域、卒業生のためにご活躍していただきたい。
- ・高専の卒業生が優秀で、多くの企業において重要な役割を果たしていることは誰もが認めることです。大学や高校で若者の幼稚化、低学力化が進む中、高専の存在意義は今以上に重要なものになると考えています。
- ・若い時期に専門知識を持つ人材を社会に送り出す点で、経験型スペシャリスト(一人前になる迄に長い実務経験を要するような技術職)の人材源として高専の存在意義は大きいと考えます。
- ・複数の教育選択肢の一つとして、特徴(特長)を持たれたら良いと考える。
- ・我が社の場合、60人程度の小企業、建設関連の不振の中で人材が集まらない待遇も良くない。高専技術者が小企業でも飛び込んで見ようというバイタリティのある人材を望みたい。
- ・実践型の学生を育てる。地域社会密着型の教育機関。
- ・素晴らしい教育制度である。全国どこでも企業・官庁内でも頑張っておられる。企業によっては学部卒との差別があるが、いずれはなくなると思われる。素直に頑張っていたきたい。
- ・高専だからできる教育というものを明確にして、他教育機関との差別化を図る必要があると思います。
- ・研究開発の成果には素晴らしいものがあると思います。(TVで見たことがあります)
- ・当社では、大学より、高専(卒)の方が、評価(評判)が高い。教育姿勢・方針に問題点は感じる。
- ・産官学はこれからも、さらに進めに行くべきだと考えます
- ・貴校の教育目標の通り、日本人として、今回ノーベル賞受賞者も出ました。学生の隠された才能を見出す事と、サポートしてやる事が大切だと思います。

- ・今は大学よりは、専門科の方が、社会には望まれているのでは（即実戦）。
- ・現在の産業界が、必要としている人材を育成されており、他校に劣らない存在意義があると思います。
- ・貴校の教育目標に掲げている「実践力のある開発型技術者」は、まさに NHK が高専の学生さんに期待していることです。大学教育ではなかなか身に付けることができない「実践力」といった点に魅力をもっております。今後ともよろしくお願い申し上げます。
- ・学歴偏重から実力主義へ変化している中で、当社も高専卒に対して大学と同等の業務成果を期待し、それに呼応して大卒者に引けを取らない待遇を得ているものもあります。このような時代の潮流を十分に認識していただいた上で高専のあるべき姿を模索して頂きたいと思う。